

【1－1．概要説明】

・レジ、在庫管理、ログ、チャート等で扱う 商品のデータを登録する

【1－2．画面レイアウト定義】

商品登録

商品コード:

(1)

商品名:

(2)

アイコン:

ファイルを選択

選択されていません (3)

カテゴリ:

雑貨

(4)

追加 (5)

原価:

(6)

定価:

(7)

売価:

(8)

準備個数:

(9)

登録 (10)

既存の商品

・ チョコレートクレープ\200|10個 (11)

【1－3. 画面項目定義】

番号	項目名	項目名 (英字)	属性	型	桁数 (Byte)	I/O	必須チェック	入力制限					表示形式 (編集仕様)	DBアクセス	対応テーブルカラム	詳細
								かな	カタカナ	英字	数値					
(1)	商品コード	prodCode	text	String		I	○	-	-	○	○		-	-	-	商品コードを入力する
(2)	商品名	prodName	text	String	-	I	○	-	-	-	-		-	-	-	商品名を入力する
(3)	アイコンURL	url	file	-	-	I	-	-	-	-	-		-	-	-	アイコン画像となるファイルを選択する (jpg,png)
(4)	カテゴリ	category	select	String	-	I	○	-	-	-	-		-	-	-	商品カテゴリを選択する
(5)	カテゴリ追加	addCategory	button	-	-	I	-	-	-	-	-		(1)	-	-	商品カテゴリを追加する (全団地で共有可能)
(6)	原価	genka	number	int	-	I	○	-	-	-	○		-	-	-	原価を入力する
(7)	定価	teika	number	int	-	I	○	-	-	-	○		-	-	-	定価を入力する
(8)	売価	baika	number	int	-	I	○	-	-	-	○		-	-	-	売価を入力する
(9)	準備個数	kosuu	number	int	-	I	○	-	-	-	-		-	-	-	用意できるであろう準備個数を入力する
(10)	登録ボタン	rregistButton	button	-	-	I	-	-	-	-	-		(2)	商品テーブル全体	-	(1)-(8)までの項目をデータベースへ送信する
(11)	既存の商品一覧	productList	label	-	-	I	-	-	-	-	-		(3)	商品名,原価,準備個数	-	商品テーブルを検索し、一件以上であれば対応したカラムを取得する

【1－4. 入力パラメータ】

なし。

【1－5. イベント詳細定義】

			P T実施結果記入欄					
No.	イベント／条件	処理内容	実施日	結果	実施日	結果	実施日	結果
1	自画面表示時	【検索処理】 1. 団体IDを元に、商品テーブルを検索する (1－6. DBアクセス (3)参照) 2. 商品カテゴリテーブルから全データを取得する (1－6. DBアクセス(1) 参照) 【表示処理】 1. 商品テーブルに予めデータが格納されていれば、対応したカラムからデータを取得し、表示する (一件も無ければ、何も表示しない) 2. DBから取得した商品カテゴリ一覧を追加するHTMLタグを挿入する (商品カテゴリテーブルの[商品カテゴリID] = [<option>タグのname欄] として一致させておく						
2	追加 押下時	【表示処理】 CSSの設定で非表示の 「カテゴリの追加」 ウィンドウを表示させる (カテゴリ名と追加ボタンの2つのみ) 【DBアクセス】 上記で入力されたカテゴリ名をServletから取得し、データベースへアクセス (1-6.DBアクセス(4)参照)						
3	登録 押下時	【入力チェック】 1－3 画面項目定義に従い、入力チェックを実施する。 【DBアクセス】 1. 入力されたパラメータをServletから取得する 2. Servlet側からデータベースへアクセスし、INSERT文を実施する(1-6.DBアクセス(2)参照)						

【1－6．DBアクセス】

(1)商品カテゴリ検索	(2)商品登録	(3)既存商品検索
取得カラム名	対象カラム名	取得カラム名
商品カテゴリ名	商品コード 商品名 URL カテゴリID 原価 定価 売価 準備個数	商品名 原価 準備個数
検索対象テーブル名	検索対象テーブル名	検索対象テーブル名
商品カテゴリ名	商品名	商品
検索条件	備考	検索条件
なし	予め選択してある商品カテゴリIDを取得しておく	全検索
(4)商品カテゴリ追加		
対象カラム名		
カテゴリID カテゴリ名		
検索対象テーブル名		
商品カテゴリ		
備考		
カテゴリIDは、連番とする		